

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

| | |
|--------|-------------------------|
| 建物名称 | (仮称)介護老人保健施設葵の園・新潟北区 |
| 建設地 | 新潟県新潟市北区島見町字下往来200-1他4筆 |
| 用途地域 | 準工業、法第22条地域 |
| 建物用途 | 病院 |
| 竣工年 | 2022年2月 竣工 |
| 敷地面積 | 6,288.76 m ² |
| 建築面積 | 1,158.81 m ² |
| 延床面積 | 3,351.32 m ² |
| 階数 | 地上3F |
| 構造 | RC造 |
| 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 評価の実施日 | 2021年2月13日 |



2. CASBEE新潟の評価結果

| | | |
|---|----|--|
| | B- | $BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{49.2}{59.6} = 0.8$ |
| S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ | | |

3. 新潟市の重点項目の評価

| 重点項目 | 平均スコア | 評価 | 項目 | スコア |
|---|-------|----|-------------------|---------------|
| 1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために | 3.0 | | バリアフリー計画 | Q2.1.1.3 3.0 |
| | | | 維持管理 | Q2.1.3 3.0 |
| | | | 設備の更新性 | Q2.3.3 3.0 |
| 2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために | 3.0 | | 耐震・免震・制震・制振 | Q2.2.1 3.0 |
| | | | 信頼性 | Q2.2.4 3.0 |
| 3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために | 3.0 | | 雨水排水負荷低減 | LR3.2.3.1 3.0 |
| | | | | |
| 4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために | 2.0 | | 建物外皮の熱負荷抑制 | LR1.1 1.0 |
| | | | 自然エネルギー利用 | LR1.2 3.0 |
| 5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために | 2.7 | | 節水 | LR2.1.1 3.0 |
| | | | 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 | LR2.2.4 1.0 |
| | | | 部材の再利用可能性向上への取組み | LR2.2.6 4.0 |
| 6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために | 2.0 | | 生物環境の保全と創出 | Q3.1 2.0 |
| | | | 敷地内温熱環境の向上 | Q3.3.2 2.0 |
| 7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために | 3.0 | | まちなみ・景観への配慮 | Q3.2 3.0 |
| | | | 地域性への配慮、快適性の向上 | Q3.3.1 3.0 |

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

雨水排水の抑制のため雨水は全て敷地内浸透処理とした。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | (仮称)介護老人保健施設葵の園・新潟北区 | 階数 | 地上3F |
| 建設地 | 新潟県新潟市北区島見町字下往来200-1他4筆 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 準工業、法第22条地域 | 平均居住人員 | 100人 |
| 地域区分 | 5地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 病院 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2022年2月 竣工 | 評価の実施日 | 2021年2月13日 |
| 敷地面積 | 6,289 m ² | 作成者 | 村田行庸 |
| 建築面積 | 1,159 m ² | 確認日 | 2021年2月20日 |
| 延床面積 | 3,351 m ² | 確認者 | 村田行庸 |

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

環境品質 (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 92%
③上記+②以外の 92%
④上記+ 92%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 2.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|---|--|
| 総合 建物の配置を可能な限り県道側から離し、通過車両からの騒音・振動を低減している。また空調室外機等は屋上に設け、近隣への騒音対策として配慮した。 | | その他 |
| Q1 室内環境 室内には、F☆☆☆☆を使用し室内環境に配慮した。 | Q2 サービス性能 入居者の居室は面積、天井高共にゆとりを持たせた。 | Q3 室外環境(敷地内) 敷地周囲を緑地帯とし、景観形成に努めた。 |
| LR1 エネルギー 空調や、照明計画とも個別ゾーニングすることで、より省エネに配慮した。 | LR2 資源・マテリアル 主要水栓に節水コマによる省資源化に配慮した。 | LR3 敷地外環境 雨水は全量敷地内浸透処理とした。計算はすべて新潟市の技術指針による。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される